

テレビ東京が台湾とアニメを共同製作 大人気ゲーム「軒轅剣」を初のアニメ化

テレビ東京は、中華圏で人気のゲーム「軒轅剣（けんえんけん）」のアニメを台湾企業と共同製作します。

「軒轅剣」は台湾のゲーム会社 大宇資訊股份有限公司（以下 ソフトスター社）が開発したゲームで、中国戦国時代の墨家という学派が残した“機関”と呼ばれる動力装置や科学技術をめぐる壮大なストーリーと、機関獣という斬新な戦闘キャラクターを使っのバトルプレイが多くのファンを引き付けています。1990年に第一弾が発売されてから、今年25周年という長寿シリーズで、これまでに本編・スピンオフ合わせてPC版12作品がリリースされ、中華圏でのプレイヤーは8,000万人に達しています。今後はダウンロード型販売での世界展開やゲーム機向けのバージョンも予定しています。

ゲームの人気を受けて、ノベライズ、コミック、実写スペシャルドラマ化などが展開されました。ドラマは高視聴率を記録し、ネット配信でも26億回を超える再生回数を記録しています。今回は満を持しての初のアニメ化で、数あるエピソードの中から、ゲームのファンの間で特に人気の高い“蒼之濤（そうとう）”をベースに、アニメならではのストーリーも盛りこんだ作品になる予定です。

ソフトスター社はこの先も「軒轅剣」の新作のリリースを予定しており、アニメは2017年、まず中華圏での放送と配信開始を目指しています。その後、アジア、欧米への展開を予定しています。

今回は、企業マッチングで実績のあるみずほ銀行の協力を得て、台湾側のパートナーとして、ソフトスター社のほか、アニメ企画会社ナダ、IPTV・CATV事業を手掛けるゴールデンTVの三社が揃いました。4社のメディア、エンタテインメント企業がタッグを組んでのプロジェクトです。

テレビ東京は、ここ数年海外とのアニメ作品の共同製作を手掛けていますが、今回は中華圏から世界を目指すという新たな挑戦となります。テレビ東京は、得意とするアニメビジネスのノウハウを活用し、ゲームとアニメの連動で、「軒轅剣」の人気を世界に広げるべく取り組んで参ります。



画像は軒轅剣のゲームから © ソフトスター（台湾）

〈この件に関するお問い合わせ〉

株式会社テレビ東京
広報局広報部

☎03-5470-7777